

植物関連雑誌のタイトル紹介,会記

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード: 作成者: 植物地理・分類学会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/48672

植物関連雑誌のタイトル紹介

(括弧内は頁数を示す。雑誌によっては編集部で植物自然史関係のもののみ選択した。雑誌の閲覧を許可された富山市科学文化センター、富山県中央植物園に感謝いたします。掲載を希望される方は、雑誌を編集部までお送り下さい。)

○ 利尻研究 第23号 2004年3月

(〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館)

鈴木順子・宮本敬之助・宮本誠一郎・佐藤雅彦：利尻島大空沢よりチシマキンレイカ確認の報告(1-2) / 佐藤雅彦：利尻島におけるハマウツボの初記録(3) / 春木雅寛・藤原充志・松田 彊・夏目俊二・矢島 崇・並川寛司・新山 馨：利尻島および礼文島における代表的な森林植生について(57-91)

○ 青森県立郷土館調査研究年報 第28号 2004年3月

(〒030-0802 青森県青森市本町2丁目8-14 青森県立郷土館)

柿崎敬一・高谷泰三郎・齋藤信夫・太田正文・神 真波：小川原湖周辺の植物(4)(49-52)

○ 秋田県立博物館研究報告 第29号 2004年3月

(〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山52 秋田県立郷土館)

阿部裕紀子・松田義徳・藤原陸夫：秋田県の帰化植物(1-16)

○ フロラ福島 No.21 2004年6月

(〒960-0241 福島県福島市笹谷字谷地中3-16 樋口利雄方 福島県植物研究会)

五十嵐 彰・佐藤光雄・須賀紀一・野中俊夫・樋口利雄・山田恒人：安達太良山の植物6—安達太良山のイチイ群落・船明神山のアオモリトドマツ群落・銚子ヶ滝のブナ群落・塩沢登山道のブナ群落について(1-7) / 五十嵐 彰・氏家利夫・遠藤史貴・岡崎春夫・佐藤光雄・宍戸 篤・須賀紀一・鈴木浩一・野中俊夫・樋口利雄・山田恒人・渡部秀哉：安達太良山の植物7—安達太良山系のフロラについて(9-38) / 蓮沼憲二：福島県天栄村羽鳥湿地群の植物群落とフロラ 第3報(39-48) / 湯澤陽一・福田廣一：八溝山の苔類(49-56) / 湯澤陽一・伊賀和子：福島県のホクリクムヨウラン(57-58) / 湯澤陽一・紺野七美：福島県のナンブワチガイソウとヒゲネワチガイソウ(59-62) / 佐藤健司・山田恒人：フジシダの新産地(63-65) / 富田國男：磐梯山の明治噴火による泥流上に生じたブナの観察例(72) / 黒沢高秀・黒沢祥子：福島県外の学術雑誌で発表された福島県の維管束植物に関する新知見(2002年-2003年、および1990-2001年追補)(79-85) / 堀富男：福島県新産植物と稀産植物の新産地(89-92)

○ 栃木県立博物館研究紀要 第21号 2004年3月

(〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館)

石原和代・蛭間 啓：高原山におけるイラモミの分布と混合樹種(19-23)

○ 食虫植物研究会々誌 第55巻

(〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学生物学教室内 食虫植物研究会)

第2号(通巻187号) 2004年4月—柴田千晶・小宮定志：2003年ギアナ高地の食虫植物探査(16-21) / 宮本 誠：南アフリカ探検記2003(95-101) / 浅岡末治：タヌキモの観察(101-106) / 笈田一子：チビヒメタヌキモの自生地に異変(108-109)

第3号(通巻188号) 2004年7月—倉田薫子：ウツボカズラ科の分子系統およびDNA多型に基づく種内分化—ニューカレドニアを例に—(121-126) / 片桐義昭：アフリカナガバモウセンゴケの草食習性(126-139)

○ 神奈川県立博物館研究報告 自然科学第33号 2004年3月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

田中徳久：標本データを使った横浜市18区の植物地理(1-8) / 木場英久・高嶋八千代：日本産の円錐花序をつけるハマニンニク属植物のさく葉標本にもとづく分類学的研究(9-18) / 北川淑子・田中徳久：横浜のレッドデータ植物目録(97-118)

○ 神奈川自然誌資料 第 25 号 2004 年 3 月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

田中徳久：標本データによる横浜市の各区の植物相の特徴 (57-66) / 逢沢峰昭・尾崎煙雄・齋藤央嗣・藤平量郎：神奈川県丹沢山塊におけるヒメコマツ (*Pinus parviflora*) の分布状況 (67-72)

○ FLORA KANAGAWA No.56 2003 年 12 月

(〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 県立博物館内 神奈川県植物誌調査会)

吉田三夫：コゴメイについて (696) / 吉田三夫：川崎市におけるスゲ属の稀産種の生育環境について (696-697) / 逢沢峰昭：丹沢山塊のナツツバキの分布 (697-698) / 浜口哲一：ツユクサの“角” (698-699) / 浜口哲一：シマスズメノヒエの粘る実の正体 (700-701) / 勝山輝男：帰化植物 ML のやりとりで明らかになった神奈川県産帰化植物 (701-703) / 秋山幸也：ハマネナシカズラのさく果は花冠から裸出しない (703-705) / 和田良子・埜村恵美子・野津信子・佐々木シゲ子：横浜市内でヒロハウラジロヨモギ確認 (705-706) / 木場英久：大山のナベワリ (706)

○ 長野県自然保護研究所紀要 第 7 巻 2004 年 3 月

(〒381-0075 長野県長野市北郷 2054-120 長野県自然保護研究所紀要編集委員会事務局)

大塚孝一・尾関雅章・前河正昭：千曲川中下流流域における常緑広葉樹シラカシ (ブナ科) の自生分布 (17-22) / 大塚孝一・尾関雅章：長野県北部牟礼村で自生が確認されたホソバナシバナ (41-43) / 藤原陸夫：長野県自然保護研究所ハーバリウム (55-63)

○ 長野県植物研究会誌 第 37 号 2004 年 6 月

(〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学理学部 長野県植物研究会)

千葉悟志・清水建美：長野県絶滅危惧ササユリの生活史および訪花昆虫—日本産草本植物の生活史研究プロジェクト報告第 4 報— (1-8) / 小山泰弘：長野県におけるササ開花情報 (5) ~2003 年~ (9-12) / 小林正明：信州の植物フェノロジーの研究 10 ノイバラの開花と標高について (13-20) / 小林正明：信州の植物フェノロジーの研究 11 ツリガネニンジンの開花と標高について (21-27) / 竹重 聡・大塚孝一・堤久：センジョウデンダ (オシダ科) の新産地 (39-44) / 上野勝典・上野由貴枝：長野県産シダ植物の新産地 (45-48) / 上野勝典・上野由貴枝：新産地報告 (49-50) / 横内文人：日本南アルプスの高山植物 (2) (51-72) / 清水建美 (編)：「長野県植物誌」補遺 (7) (73-80) / 大塚孝一・尾関雅章・棚秋隆哉：長野県希少野生動植物保護条例の規定により指定された希少野生動植物 (81-84) / 秋本真澄：長野県のミヤマニガウリ (85-102) / 大平仁一：花の女王「ニリンシラネアオイ」を見つめて (103)

○ 新津植物資料室年報 2003 2004 年 3 月

(〒956-0816 新潟県新津市東町 2-5-6 新津市地域学園内 積雪地域植物研究所 (新津植物資料室))

石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (3) (1-6) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (3) (7-11) / 渡辺洋子：佐渡島における植物観察記録 2 (12-15) / 木村 彰：越後の植物観察記 (その 1) (16-21) / 木村彰：ミズワラビとトチカガミの新潟県における分布 (22-23) / 朱 雁：新潟県における暖温帯常緑樹の短報 (2) (7-16)

○ 富山県中央植物園研究報告 第 9 号 2004 年 3 月

(〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田 42 富山県中央植物園)

山下寿之：氷見市朝日社叢における主要高木性樹種の実生・稚幼樹の齢・サイズ構造 (1-7) / 神戸敏成・奥隆善・三位正洋：3 倍体センノウの微細繁殖及び繁殖個体の特徴 (英文) (9-17) / 兼本 正・兼本正人：沖繩島に導入されたハンノキの現状 (19-22) / 吉田めぐみ・吉田 稔：立山室堂平におけるライチョウの営巢地の植生 (23-34) / 吉田めぐみ：ライチョウの生息環境としての立山室堂平「双子山」の植生 (35-47) / 大原隆明・高木末吉・山本清美：富山県フロラ資料 (8) (49-63) / 橋屋 誠：富山県高等菌類資料 (2) (65-71) / 黒川 道：日本産カムリゴケ属地衣 2 種の著者名 (73) / 中田政司：クロヤツシロランの染色体数 (74) / 大宮 徹・魯 元学・管 開雲：中国雲南省昆明市近郊に自生するナツフジ属植物について (75-76)

○ 富山の生物 第43号 2004年3月

(〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学教育学部生物学研究室 富山県生物学会)

佐藤 卓:富山県上市町大松のウラジロガシ林について(47-55) / 佐藤 卓:2003年全国ブナ結実状況(57-62)

○ 石川県白山自然保護センター研究報告 第30集 2003年12月

(〒920-2326 石川県石川郡吉野谷村木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター)

野上達也:白山高山帯・亜高山帯における低地性植物の分布について(3)(7-13) / 西 真澄美・野崎英吉・八神徳彦・上午康生・中田彩子:クマの食材としてのスギ形成層周辺部糖含有量について(43-47)

○ 福井総合植物園紀要 第2号 2004年3月

(〒916-0146 福井県丹生郡朝日町朝日17-3-1 福井総合植物園)

門田裕一:アザミを分類するということ(1-6) / 菅原 敬:北陸・山陰地方とその周辺に分布するカンアオイの分化(7-13) / 西村直樹・平岡照代・若杉孝生:一乗滝(福井市)の蘚苔類(15-22)

○ 岐阜県植物研究会誌 第19巻 2003年12月

(〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 岐阜大学教育学部生物学教室植物分類研究室内 岐阜県植物研究会)

東 義詔・川窪伸光:岐阜県におけるアザミ属植物の分布概要(1-12) / 村瀬正成:岐阜県博物館に1点のみ収蔵されているシダ植物標本Ⅱ(13-16) / 中島照雅:サクライソウの新産地を飛騨宮村で発見(17-18) / 高橋 弘・広田艶子:岐阜県のカエデコロ(19-20) / 高橋 弘:岐阜県のヤマノイモ属の検討(21-32) / 高橋 弘:岐阜県のイブキキンポウゲ(33-40) / 高橋 弘:裸子植物の受粉(1)(41-49)

○ ため池の自然 第38号 2003年12月

(〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町岩作 愛知医科大学医学部寄生虫学教室 近藤繁生方 ため池の自然研究会)

浜島繁隆:知多半島,美浜町のため池の堤に見られる植物相と干上がった池底の植物群落(13-17) / 山岡雅俊:犬山市に分布するウキゴケ科2種(ウキゴケ, イチョウウキゴケ)の現況について(20-21)

○ 京都植物 第27巻

(京都植物同好会 幹事:〒606-0026 京都府京都市左京区岩倉長谷町486 1 F 1-3 田中 徹)

第1号 2004年1月—村田 源・津軽俊介:京都府新産植物17(8-12) / 小柳道子:〔京都の植物方言調査〕京都市北区(雲ヶ畑,西賀茂,氷室)における聞き書き(12-15) / 西沢信一:西表島の春(15-16) / 村田 章:近江今津でヒメムカゴシダ *Monachosorum arakii* Tagawa (17) / 上島 裕:越畑にエドヒガンの大木(18) / 上島 裕:カギカズラの新産地(19-20)

第2号 2004年4月—村田 源・津軽俊介:京都府新産植物18(3-5)

○ みねはな 第51号 2004年3月

(〒603-8112 京都府京都市北区小山元町44 吉川直人方 みねはな会)

神野一郎:タシロラン(1-7) / 村田 源:ニシキミヤギノハギ(新称)(8-9) / 井上康彦:ガクウツギの仲間の変異個体(10-11) / 神園英彦:琉球の離れ島で見るキバナシュスラン(12) / 片山泰雄:徳島県,高知県県境石立山と植物相(補遺1)(13-14) / 内藤登喜夫:日本国内産のコバイモ類(15-22) / 日原誠介:日本レッド・データ・プランツ繁殖記(7)—岡山の貴重な植物—(23-27) / 美崎英生:我が町の植物1. コピサワラ原生林(28-29) / 高橋 亮:堤防の花(続)(30) / 吉年祐一:オオダイブシ(56-62) / 村谷克彦:紅花のナンゴクウラシマソウ(33) / 吉川直人:ヨーロッパの植物事情(34-35) / 梅田 衛:南アメリカ・ギアナ高地サリサリニヤマ訪問記(36-39) / 齋木保久:コスタリカ,小さな植物王国(40-49) / 久志博信:カムチャツカ半島の花旅(2)(50-51) / 樋口雄一:沖縄県西表島採集思い出雑記(53-55) / 西口紀雄:西表島ジャングル苦闘記 昭和48年8月本土復帰前の西表探草旅行の思い出(56-58) / 吉年祐一:仙台・蔵王 花紀行(59-62) / 森 和男:日本山草史・明治編(63-71)

○ 奈良植物研究 第 26 号 2003 年 12 月

(〒631-0003 奈良県奈良市中登美ヶ丘 4-2 菅沼孝之方 奈良植物研究会)

北川尚史：ヨウシュヤマゴボウの果実の毒性と種子撒布 (1-6) / 川端一弘：岡本勇治『春日山原始林植物調査報告』の著作年について (7-9) / 山本修平：ヤマモガシ (ヤマモガシ科) を奈良県から記録する (11-14) / 森本範正：奈良県におけるミツバツツジ類 (ツツジ科) の分布 (15-19) / 横田岳人：2003 年 8 月の台風 10 号による大台ヶ原山のトウヒ風倒被害の現状と風倒に与えるニホンカモシカの剥皮の影響について (21-24)

○ 南紀生物 第 45 巻第 2 号 2003 年 12 月

(〒646-1111 和歌山県西牟婁郡上富田町市の瀬 676 水野泰邦方 南紀生物同好会)

藤井伸二・狩山俊悟・榎本 敬：1999 年版紀伊大島植物目録 (高等植物) の補遺およびカンアオイ属に関する分類学的ノート (115-117) / 堀内 洋：近畿地方に見られるカンガレイ類 (カヤツリグサ科) について (132-133) / 山本修平・中野久美子：高野山植物目録Ⅱ (136-144)

○ 人と自然 第 14 号 2003 年 12 月

(〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目 兵庫県立人と自然の博物館)

服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延：九州における照葉樹林の種多様性の分布 (11-19) / 橋本佳延・服部 保・石田弘明・赤松弘治・田村和也：猪名川におけるトウネズミモチの分布 (55-61) / 南山典子・竹岳秀陽・服部 保：絶滅危惧種クロホシクサの発芽特性 (93-97) / 福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編)：兵庫県産維管束植物 5 (111-162)

○ 兵庫の植物 第 14 号 2004 年 5 月

(〒654-0121 兵庫県明石市大蔵谷清水 583-36 小林禮樹 兵庫県植物誌研究会)

水田光雄：新帰化植物・アメリカコナギ属の一種ツルアメリカコナギ (新称) (1-2) / 迫田昌宏：標本採集がむずかしい植物 (2) ホンゴウソウ (3-6) / 藤本義昭：イネ科植物の葯 (3) (7-50) / 小林禮樹：兵庫県産テンナンショウ属ノート (2) (51-56) / 小林禮樹・松本修二・長谷川 薫：兵庫県におけるアゼオトギリの分布と生育環境 (57-62) / 矢内正弘・松永麻子：兵庫県におけるアメリカタカサブロウとタカサブロウ (キク科) の分布と生育地 (63-70) / 矢内正弘・松永麻子：兵庫県内のホシクサ科植物群落 (71-78) / 牛島清春・牛島富子・黒崎史平：猪名川町で注目すべき植物 (3) (79-82) / 矢内正弘：兵庫県産の植物図 (3) (カバノキ科, ウルシ科, アカネ科) (83-110) / 畑中 熙・中野 剛：高砂市の植物目録 (111-134) / 橋本光政：矢田川上流域 (美方郡美方町) の植物相 (135-174) / 水田光雄：神戸港新産の帰化植物 (4) (175-178)

○ 比婆科学 第 212 号 2004 年 4 月

(〒727-0013 広島県庄原市西本町 1 丁目 7-7 中村慎吾方 比婆科学教育振興会)

窪田雄一・窪田正彦：広島県植物誌資料 (5) (1-8,5 図版) / 吉野由起夫：広島県の維管束植物に関する文献目録 (4), 補遺と追加 (3) (11-19) / 松井健一：広島県の植物についての新産地情報 (23-26) / 吉野由起夫・富沢由美子・長谷信二・吉原礼子：広島県新産ヒナノキンチャクの生育環境 (38-39)

○ 山口県植物研究会会報 Vol.3 No.1 2004 年 5 月

(〒744-0002 山口県下松市上豊井万福寺 真崎 博方 山口県植物研究会)

安溪貴子：防府市小野地区桜ヶ峠とその周辺の植物—山口県のあたりまえの自然の記録(3) — (1-3) / 鶴谷保：植物の分布報告 (3-4) / 真崎 久・真崎 博：阿武郡阿武町長沢溜池の植物 (4-7) / 真崎 博：山口県産高等植物についての新知見 (8-11) / 真崎 博：失われたヤナギの記録 (11-12)

○ 徳島県立博物館研究報告 第 14 号 2004 年 3 月

(〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館)

茨木 靖・木内和実・斎藤 正：徳島県から新たに発見された帰化植物 3 種：アレチキンギョソウ, ニセアゼガヤ, ホウキヌカキビ (133-135) / 小川 誠・木下 覺・田淵武樹：園瀬川流域 (徳島県) におけるフジバカマの分布 (137-140)

○ 長崎県生物学会誌 No.56 2003年12月

(〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会)

中西弘樹・岩城太郎・川良奈緒美：長崎市に野生化しているフヨウについて (7-11) / 米 文博・川久保昌博・森 ゆみえ・杉山順子：トビカズラの種子の発芽生長記録と果実の観察 (12-15) / 宮崎正隆：福江島全島の巨樹・巨木を訪ねて (30-33) / 中西弘樹・田尻夏紀：イネ科植物の撒布と撒布体の観察 (36-40) / 米文博・川久保昌博・西條史記・森 ゆみえ：南九十九島海域に分布するハマボウ (41-44)

○ BOTANY No.53 2003年12月

(〒860-0007 熊本県熊本市古京町 3-2 熊本博物館内 熊本記念植物採集会)

創立 70 周年記念講演—加藤辰己：ハナシノブの交雑問題 (1-10) / 村田 源：アマゾンチドメグサとブラジルチドメグサ (11-14) / 瀬井純雄・大滝則雄：阿蘇の草原から「花野」が消える!?(20-28) / 近藤和子・加藤稜子・鶴田佐知子・永井とみ子：アンコールワットとベトナムの自然を訪ねて (29-36)

○ 鹿児島県立博物館研究報告 第 23 号 2004 年 3 月

(〒892-0853 鹿児島市城山町 1-1 鹿児島県立博物館)

桑水流淳二・森田康夫・中峯浩司・行田義三：草垣群島の自然調査報告 (その 2) (21-25) / 森田康夫：トカラ列島口之島の植物採集記録 (55-60) / 森田康夫：種子島における植物採集記録 (61-73)

(編集部 中田政司編)

会 記

2003年度会計報告(2003年1月1日~12月31日)

○植物地理・分類学会

収入(A)	5,696,760円	支出(B)	3,928,337円
会費	2,146,400	雑誌印刷費	2,903,250
バックナンバー	542,500	(50-2, 51-1)	
書籍売上	803,800	雑誌送料	152,138
別刷代金	201,000	通信費	88,700
超過ページ組賃	126,000	編集事務	150,000
カラー図版代金	200,000	英文校閲	50,000
利息	6	会計事務	116,500
雑収入(論文抄録等)	5,040	庶務事務	102,458(内訳)
総会参加費	13,200	雑誌等発送アルバイト	57,500
前年度繰越金	1,658,814	文具等	2,565
		封筒等	42,393
		ニュースレター送料	99,630
		会議旅費	107,000
		自然史学会連合負担金	20,000
		学会運営費	50,000
		雑支出	935
		総会関係	87,726(内訳)
		運営費	38,250
		茶菓料	1,780
		招待講演費	42,000
		懇親会等補助	5,696

差引(A-B) 1,768,423円(次年度へ繰越し)

○植物地理・分類学会後援会

収入(A)	1,232,532円	支出(B)	107,483円
醸金(0件)	0	審査会議費	37,000
前年度繰越金	1,232,532	授賞金	50,000
		受賞者旅費・宿泊費	20,000
		文具等	483

差引(A-B) 1,125,049円(次年度へ繰越し)

新入会員(2003年11月~2004年7月)

11月7日	島田 博匡	〒515-2623	三重県一志郡白山町上ノ村132-31
11月16日	山城 稔幸	〒673-0017	明石市野々上3丁目4-17 野沢アパート206
12月8日	平中 賢朗	〒224-0025	横浜市都筑区早瀬2-2-2 国土環境(株)環境情報研究所 自然環境保全グループ
1月19日	橘 康夫	〒871-0201	大分県下毛郡本耶馬溪町樋田
1月29日	長谷川 孝	〒321-0931	宇都宮市平松町420-29 第2小島ハイツ101号
2月9日	小峯 洋一	〒321-0503	栃木県那須郡南那須町大字月次1022-15
4月1日	人間環境大学附属図書館	〒444-3505	岡崎市本宿町上三本松6-2

4月 1日	花井 隆晃	〒474-0043	大府市米田町 1-247
4月 1日	実吉智香子	〒065-0011	札幌市東区北 11 条東 5 丁目 ノースソニア 115 106 号
4月 16日	荻津 英也	〒310-8512	水戸市文京 2-1-1 茨城大学理学部生態学研究室
4月 19日	得居 修	〒799-2421	北条市神田甲 165
5月 19日	小嶋 義規	〒465-0021	名古屋市名東区猪子石 2 丁目 710 (財)東海技術センター 環境調査課
5月 31日	井上 恭子	〒981-3125	仙台市泉区みずぼ台 20-18 サンコートヒルズみずぼ台Ⅱ-107
6月 5日	吉本 敦子	〒924-0022	松任市相木 194-6
7月 9日	川上美保子	〒386-0005	上田市古里 2117

退会会員 (2003 年 11 月～2004 年 7 月)

山岡 正尾	〒939-3551	富山市水橋中村 416 (死去)
北 清治	〒923-1269	石川県能美郡川北町上田子島甲 28
青木 繁	〒520-1633	滋賀県高島郡今津町今津松陽台 2-8-6
奥富 清	〒206-0034	多摩市鶴牧 6-1-3-205
北元 敏夫	〒555-0021	大阪市西淀川区歌島 1-24-7
斉藤 慧	〒969-3512	福島県耶麻郡塩川町東栄町 1-8-5 (死去)
平田 浩	〒891-0146	鹿児島市慈眼寺町 3-8
塩澤 良侑	〒410-0865	沼津市東門間町 8-1
村上健太郎	〒618-0014	大阪府三島郡島本町水無瀬 2-16-9
戸崎 弥生	〒509-6107	瑞浪市須野志町 2-63 フォーブル須野志 203
三浦 康男	〒465-0094	名古屋市名東区亀の井 1-176
高橋 務	〒959-1511	新潟県南蒲原郡田上町吉田新田丁 270-26
菅野 昭	〒981-0943	仙台市青葉区国見 3-4-35-2 F
木下 慶二	〒644-0003	御坊市島 218 (死去)
吉年 祐一	〒586-0014	河内長野市長野町 8-3 (死去)
小林 一男	〒184-0015	小金井市貫井北町 3-24-27 (死去)

住所・氏名変更及び訂正 (2003 年 11 月～2004 年 7 月)

越前谷 康	〒010-0905	秋田市保戸野中町 3-7 →〒010-0013 秋田市南通築地 15-20
大久保嘉雄	〒919-0621	福井県坂井郡金津町市姫 4 丁目 5-1 福井県立金津高等学校 →〒919-0621 <u>あ</u> <u>わら市市姫 4 丁目 5-1 福井県立金津高等学校</u>
北見 健彦	〒952-1546	新潟県佐渡郡相川町南沢町 125 →〒952-1546 佐渡市相川南沢町 125
三浦 憲人	〒930-8555	富山市五福 3190 富山大学理学部生物学科 →〒321-1263 今市市瀬川 175-1 <u>ローゼンハイム B 102 号室</u>
笹村 和幸	〒930-8555	富山市五福 3190 富山大学理学部生物学科 →〒930-0884 富山市五福末広町 <u>2310 ハイツ吉田 221</u>
榎本 良祐	〒930-8555	富山市五福 3190 富山大学理学部生物学科 →〒674-0051 明石市大久保町大 <u>窪 1330-11</u>
葛山 博次	〒511-0431	三重県員弁郡北勢町別名 659-5 →511-0431 いなべ市北勢町別名 659-5
森長 真一	〒982-0801	仙台市太白区八木山本町 1-23-26 <u>コーポパークサイド 105</u> →〒444-0845 <u>岡</u> <u>崎市六名南 2-12-11 サザン六名 201</u>
中山 修一	〒229-0012	相模原市西大沼 2-20-5 <u>フラワーベルマンション 302</u> →〒236-0028 横浜市 <u>金沢区洲崎町 5-21-308</u>
佐藤洋一郎	〒422-8529	静岡市大谷 836 静岡大学農学部 →〒602-0878 京都市上京区丸太町通り河原 <u>町西入る高島町 335 総合地球環境学研究所</u>
太田 望洋	〒243-0014	厚木市旭町 5-42-3 <u>アジア航測(株)環境部</u> →〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 <u>1-2-2 アジア航測(株)関東支社環境部</u>

- 野武隆太郎 〒815-0041 福岡市南区野間 2-3-15-101 →〒274-0801 船橋市高野台 3-27-3
長野県自然保護研究所 〒381-0075 長野市北郷 2054-120 →長野県環境保全研究所飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷 2054-120
- 登坂 裕一 〒950-0994 新潟市上所 1-3-1 新潟南高等学校 →〒950-0926 新潟市高志 1-15-1 高志高等学校
- 沢之向 隆 〒340-0036 草加市苗塚町 636 飛騨運輸独身寮 302 →〒509-4231 飛騨市古川町新栄町 2-17
- 吉田 国二 〒464-0067 名古屋市千種区池上町 3-10-1 第二池上住宅 301 →〒451-0064 名古屋市西区名西 2-3-3
- 山森 茂 〒929-1112 河北省多田口 95 →〒929-1112 かほく市多田口 95
- 奥田 浩之 〒486-0907 春日井市黒銚町字黒銚 145-4 →〒509-0231 可児市緑ヶ丘 2-119-8
- 中野真理子 〒520-2113 大津市上田上平野町字大塚 509-3 京都大学生態学研究センター →〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学自然計測応用研究センター植物園
- 辻 誠一郎 〒285-8502 佐倉市城内町 117 国立歴史民俗博物館 →〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学研究系 社会文化環境学大講座
- 藤原 陸夫 〒381-0075 長野市北郷 2054-120 長野県自然保護研究所 →〒253-0061 茅ヶ崎市南湖 6-13-8

学会員の勧誘のお願い

本学会は昨年雑誌創刊 50 周年の記念事業をおこなうなど、順調に発展してきております。しかし、学会運営や雑誌発行の財政面では余裕がない状態です。それで、会員の皆様の周りで、ぜひ本学会への入会をお勧めいただきたく思います。一般会員の年会費は 4,000 円で安価です。さらに学生会員では、会費はわずか 1,000 円です。これを機会に周りの方々、特に学生の方に入会をお勧めください。

2004年度植物地理・分類学会賞の審査結果について

2004年植物地理・分類学会賞の受賞者は、審査委員会による厳正な審査の結果、下記のように決定いたしました。

受賞者 小林 禎樹
兵庫県明石市大蔵谷清水 583-36
推薦者 黒崎 史平 (頌栄短期大学)

小林禎樹氏は東京都の出身で、1968年に東京大学工学部を卒業後民間会社に就職された。1970年から兵庫県立公害研究所(現:健康環境科学研究センター)に勤務され、大気中の金属物質の監視測定や六甲山の森林に対する酸性雨の影響評価などの野外調査・研究に従事されてきた。

仕事のかたわら、小林氏は兵庫県の植物相研究に大きな貢献をされた。週末を利用して兵庫県内をくまなく歩かれて植物相の調査を行い、調査日数は20数年間で延べ1,200日におよぶと聞いている。その間に採集された約4万点の標本は頌栄短期大学をはじめ京都大学、兵庫県立人と自然の博物館などの標本庫に納められている。これらの中には、ハリマムシグサ、クロタマガヤツリ、センダイスゲ、キンレイカ、ウスバヒョウタンボク、アオベンケイ、ハチジョウイチゴ、シロバナハンショウヅルなど兵庫県新分布や再確認の証拠標本も多数含まれている。小林氏の詳細な調査に基づく新知見は「植物地理・分類研究」、「植物分類、地理」、「兵庫の植物」等に発表されている。また、西神戸、淡路島、および六甲山地の調査は「西神戸の植物」(1989)、「淡路島の植物誌」(1992)、「六甲山地の植物誌」(共著、1998)として発表されている。いずれの出版物も証拠標本や徹底的な文献調査に基づいているため、地域植物研究にとって大変重要なものであると高く評価できる。

小林氏はテンナンショウ属植物の研究でも大きな業績を残された。兵庫県内のテンナンショウ属植物の分布をまとめられた(1992, 1993)。また、共同研究者と共に国内のテンナンショウ属植物の染色体数を調べられた。その結果、ナガバマムシグサ群がマムシグサ節の中から派生したことを明らかにした。また、本州、四国、九州のナガバマムシグサ群の30集団についての形質を調べ、ナガバマムシグサ群の分類学的再検討を行っている。

小林氏は絶滅危惧植物の保全にも大きな貢献をされている。「兵庫県版レッドデータブック」(1995, 2003)や「レッドデータブック近畿」(1995, 2001)の編集に尽力された。神戸市のヤチスギランやキョスミウツボの保全、淡路島の海浜植物群落の保全、などのために関係機関との話し合いを通してさまざまな施策の実現を図っている。同時に兵庫県植物研究会では幹事として会誌「兵庫の植物」や会報の編集・発行に携わり、会員の育成に努められている。

以上のように小林禎樹氏の業績は、植物地理学および植物分類学の分野において学術的、教育的および社会的活動の見地からまことに顕著であり、植物地理・分類学会賞を授賞するにふさわしい方であると審査委員会は全員一致で決定した。同氏には今後ともいっそう研究に邁進され、当学会においても活躍されることを願ってやまない。

2004年3月6日
植物地理・分類学会賞審査委員会

植物地理・分類学会賞応募要領

植物地理学と植物分類学の振興と育成のために、植物地理・分類学会に次の 2 つの学会賞を設ける。

1) 名称：植物地理・分類学会賞

応募資格：受賞の年度において 5 年以上にわたって植物地理・分類学会員であること

受賞の対象となる業績内容の例：

- ・地域植物相の解明に貢献
- ・モノグラフの研究に貢献
- ・分類群の系統解明に貢献
- ・地域の植物研究グループの中心としての教育的な貢献

応募方法：自薦または他薦による候補者の推薦

提出書類

- a) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1 部，又は学校，研究所，博物館等に所属していない者はこれまでの研究歴について書いた書類 1 部
- b) 業績リスト 1 部
- c) 主要論文の別刷りをそれぞれ 3 部，あれば著書 1 部
- d) 推薦理由書
- e) 業績内容を照会できる人（1 名）の連絡先を記した書類

応募期限（2006 年度）

2005 年 10 月 31 日

応募先（必ず書留便で郵送下さい）

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園

植物地理・分類学会

庶務幹事 木下栄一郎

2) 名称：植物地理・分類学会奨励賞

応募資格：植物地理・分類学会員で，優れた萌芽の研究で成果を出し，今後の発展が期待できる者

- ・ファーストオーサーとして植物地理・分類研究に論文を発表している者
- ・応募時満 35 歳未満の者

応募方法：自薦または他薦による

提出書類

- a) 履歴書（研究歴を明瞭に記載したもの）1 部
- b) 業績リスト 1 部
- c) 主要論文の別刷りをそれぞれ 3 部，あれば著書 1 部
- d) 推薦理由書
- e) 業績内容を照会できる人（1 名）の連絡先を記した書類

応募期限（2006 年度）

2005 年 10 月 31 日

応募先（必ず書留便で郵送下さい）

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園

植物地理・分類学会

庶務幹事 木下栄一郎

学会賞の決定：1 月の学会賞審査委員会にて決定される。

学会賞審査委員会の構成：会長（1 名），評議員（5 名），審査委員（幹事会推薦の若干名）からなる。会長又は評議員が応募者や推薦人になったときは審査委員会に出席できない。

受賞式：年次総会において賞状および副賞（金5万円）が授与される。また、受賞者は受賞講演を行い、講演内容は「植物地理・分類研究」に掲載される。

学会のホームページのお知らせ

植物地理・分類学会のホームページがあります。その中に、お知らせ、投稿規定、会則、入会案内、および論文索引があります。論文索引は第1巻第1号から第51巻第2号までの通巻154号につき、著者名と日本語の論文名が出ていますので、御活用ください。

<http://raicho.sci.toyama-u.ac.jp/~naruiwa/phytogeographyandtaxonomy.html>

本会出版物とバックナンバーのセールのお知らせ

本会出版物

以下の本（2002年発行を除く）は以前の頒布価格の約半額になっています。この機会にお求めください。いずれも送料込みの値段です。

桑原義晴（1977,1982年発行）：日本イネ科植物生態図譜 第三巻 1,000円、第四巻 1,000円（第一巻、第二巻は売り切れしました）

石川県教育委員会（1978年発行）：手取川流域の手取統珪化木産地調査報告書 4,000円

植物地理・分類研究会（1986年発行）：植物地理・分類研究（北陸の植物）索引 1,000円（1952年の第1巻から1985年の第33巻までの索引で、和名索引、学名索引、著者名索引からなっている）

植物地理・分類学会（2002年発行）：各都道府県別の植物自然史研究の現状 2,000円（植物地理・分類研究 創刊50周年記念号（第152号）の第2部各都道府県別の植物自然史研究の現状 143～262頁を小冊子にしたもの、レッドデータブック植物編一覧追録（1）、（2）付）

バックナンバー

雑誌の名前が「植物地理・分類研究」となった第27巻から第49巻（通巻第105号～第150号）まで、計23巻（44冊）をセットとして販売しております。2004年12月末日まで、セット価格は送料込みで4万円です。ただし、学会会員で個人の購入に限り3万円です。セット以外、分冊の場合は、下記の従来通りの価格です。

1巻ごとのバックナンバー価格

Vol. 27～Vol. 29 個人会員 1,500円 団体会員 2,500円 会員外 3,000円

Vol. 30～Vol. 43 個人会員 2,000円 団体会員 3,000円 会員外 4,000円

Vol. 44～Vol. 48 個人会員 3,000円 団体会員 4,000円 会員外 6,000円

Vol. 49～Vol. 51 個人会員 4,000円 団体会員 6,000円 会員外 8,000円

申し込み先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学科
岩坪美兼（会計幹事） Tel. 076-445-6628（直通） Fax. 076-445-6549 E-mail iwatsubo@sci.toyama-u.ac.jp

植物地理・分類学会 会則

第 1 条 本会は、植物地理・分類学会と称する。

第 2 条 本会は、植物地理学および分類学の進歩普及を図り、併せて会員相互の連絡および親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 植物地理学および分類学に関する研究会、講演会、シンポジウム、観察会等の開催。

2. 会誌その他の出版物の刊行。

会誌「植物地理・分類研究」は年 2 回（6 月および 12 月）に発行する。

第 4 条 本会の事業年度は 1 月 1 日に始まり、12 月 31 日に終わる。

第 5 条 会員は普通会員、学生会員、団体会員および特別会員とする。

1. 普通会員、学生会員および団体会員は植物地理学及び分類学に関心を持ち、本会の趣旨に賛同する個人または団体で、それぞれ所定の会費を納める者とする。

2. 特別会員は本会の趣旨に賛同し、本会の発展に寄与した個人または団体で、総会の承認を受けた者とする。

第 6 条 会員は、会誌の配布を受け、併せて会誌に投稿すること、本会所蔵の図書を閲覧すること、本会主催の諸会合に出席することができる。

第 7 条 普通会員、学生会員および団体会員は別に定められた会費を前納するものとし、3 年間滞納した場合には除籍されることがある。特別会員は会費の納入を要しない。

第 8 条 本会の最高決定機関として総会を置く。総会は毎年 1 回開催する。総会での議決は出席者の過半数の賛成を以て行う。ただし規約の改正には出席者の 2/3 以上の賛成を要する。

第 9 条 本会に幹事会を置く。幹事会は本会の運営を行う。幹事は会長、庶務幹事、会計幹事、編集委員長各 1 名、およびその他若干名とし、総会において選出する。

第 10 条 本会に編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長、主任編集委員および編集委員で構成し、編集委員長がこれを代表する。主任編集委員 1 名、編集委員は若干名とし、編集委員長が幹事会にはかつて委嘱する。

委員の任期は 2 年とし、重任を妨げない。

第 11 条 本会に評議員会を置く。評議員会は会長の諮問に応じ、会務の重要事項を審議する。評議員会は総会において選出された評議員若干名で構成し、任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 12 条 本会に会計監査 2 名を置く。任期は 2 年とし、総会において選出する。

付則 1. この規約は 1990 年 6 月 2 日から施行する。

付則 2. 第 10 条の規定にかかわらず会長は編集委員長を兼ねることができる。

付則 3. この規約は 2001 年 6 月 2 日から施行する。

付則 4. この規約は 2002 年 6 月 1 日から施行する。

投稿規定

(2001年6月11日部分改訂)

編集方針

「植物地理・分類研究」は、植物地理・分類学会機関誌として年1巻(2号)刊行される。本会誌は、総説、論文、短報、ノート(新産地情報、観察記録等の雑録)のほか、新刊紹介、追悼文、その他編集委員会が掲載を認めたものを掲載する。本文は日本語または英語を使用。

投稿資格

「植物地理・分類研究」に投稿する者は、原則として本会会員(共著の場合は1名以上の本会会員を含む)に限る。

原稿の受付

原稿は、投稿規定に従って書かれたものだけに受け付ける。

原稿の審査及び採否

投稿された原稿は、2名(短報は1名)の審査員が審査し、その意見のもとに、編集委員会が採否を決定する。

論文の受理

編集委員会がその論文の掲載を可とし、編集委員長がそれを認めた日をもって、その論文の受理日とする。なお、掲載順は編集委員会によって決定するものとする。

著作権

本誌掲載の論文、短報、ノート、その他の著作権は、植物地理・分類学会に帰属する。著者は、著作権を委譲する旨の書類を、最終原稿送付時に本学会に提出する。

論文の長さ

本論文は、刷り上がりで、図表を含み8頁までとする。短報とノート(雑録)は4頁までとする。ただし超過頁の組版代(1頁につき6,000円)を著者で負担する場合には制限しない。

原稿の部数

本稿1部のほか、コピー2部、合計3部を提出する。その際、表・図は3部ともに鮮明なコピーを送ること(写真版については、写真原図版を写真に撮ったものか、または審査に使用し得る程度の鮮明なコピーとする)。再審査用の修正原稿を送付する場合は、最初の原稿送付時と同様、正本とコピー2部の合計3部を提出すること。審査終了後の最終原稿は、2部をファイル名を明記したフロッピーディスクと共に送付する。表・図の原図は、掲載決定後の最終原稿とともに送付すること。なお、原図、表は原則として返却しない。返却希望の場合には、予めその旨を申し出るとともに、宛先を記入した返送用封筒を、最終原稿の送付時に必ず同封すること。

原稿の書き方

本論文は、①著者名と表題(和英両方)、②所属と住所、③Abstract(英文で250語以内)、④英語のキーワード(5語以内でアルファベット順)、⑤本文、⑥引用文献の順序で構成するものとする。短報は、①著者名と表題(和英両方)、②所属と住所、③本文、④引用文献の順序で構成するものとする。本論文・短報は、英文の場合、さらに和文の摘要を付けること。また、場合によりAppendixを付けることも可。また短報が和文の場合Summaryを付けることも可。ノート(雑録)は、英和両文で著者名と題名を付ける。

本文中で使用する単位は、国際単位系(SI)に限る。図の説明文は、図中には入れ込まず、独立した原稿として用意すること。なお、全ての様式において脚注は用いない。

原稿の用紙

英文原稿は、A4判用紙に上下3cm程度、左右2.5cm程度あけ、ダブルスペースで25行を原稿の1頁とする。和文原稿の場合は、原則として日本語ワードプロセッサを使用し、A4判の用紙に周囲それぞれ3cm程度の余白を取ったうえで、30字×30行程度を原稿の1頁として作成する。手書きの場合には、A4判400字詰め原稿用紙を用いること。

図と写真

図および写真は、そのまま印刷できるようにレイアウトして、堅いA4判の台紙にはりつけること。裏面には著者名と図番号、天地、縮小率を明記すること。写真は原寸大、図は67%縮小程度が望ましい。A4判に納めることが不可能な植生表のような場合には、A4に分割したコピーを添えること。図にはスケールを表

示し、図中の記号、数字には活字(写植を含む)をはりこむこと。図は原則として刷り上がりで 15 cm (頁巾) × 19 cm 以内または 7 cm (半頁巾) × 19 cm 以内(いずれも幅×高さ)であること。図表および写真の説明は、原則として英文とする。なお、図表は希望の挿入位置を原稿中に指示すること(著者による図表などの縮小率や位置の指定は、編集委員会において若干変更する場合があります)。カラー写真および特殊な図表は、実費を著者で負担する場合に限り掲載する。カラー写真の場合、1 枚(図 1 枚のことで、それが写真数枚からなっても可)につき 40,000 円かかります。

学名および標本庫の表示

学名は、属名および種形容語そしてそれ以下の分類群の形容語のみをイタリックで表示する。原則として、本文中では学名以外はイタリックを使用しない。学名は初出時に命名者名を付ける。学名の命名者名は、省略形を使用する場合、Brummit, R. K. and Powell, C. E. (eds.). 1992. *Authors of plant names*. 732 pp. Royal Botanic Gardens, Kew の表記を用いる。標本庫の略語は Holmgren, P. K., Holmgren, N. H. and Barnett, C. B. (eds.) 1990. *Index herbariorum* 8 ed. 693 pp. New York Botanical Garden, New York に従ってください。

文献の引用

引用文献は、本文中に引用した全てを記さなければならない。文献の配列順序はアルファベット順とし、一件ごとに改行する。すなわち、第 1 著者の異なるものはアルファベット順とし、姓が同じ場合は名のアルファベット順とする。第 1 著者が同一の場合には、単独のものを最初とし、そのあとは、第 2 著者の氏名のアルファベット順とする。第 2 著者も同一の場合には、第 3 著者以下について上記に準じる。著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者、同一年代のものは、年号のあとに小文字のアルファベットを付して、1999 a, 1999 b のように区別する。著者が 3 名以上で第 1 著者が同じである場合は、他の著者が異なっている時でも年号のあとにアルファベットを付して区別する。なお本文中での引用は、石川(1999)もしくは(Toyama 1999)のように著者名と発表年を用いる。なお著者が 2 名の場合、石川・富山(1999), (Ishikawa and Toyama 1999), 3 名以上の場合、石川他(1999), (Toyama et al. 1999) の形式を用いること。

a 雑誌の場合：著者名(姓前名後とし、すべての著者名をあげる)、年号、論文表題、雑誌名、巻数(太字)：頁とし、通し頁でない場合のみ巻数の次に丸がっことで号数をあげること。

石川太郎. 1989. 日本産イネ科の系統分類. 地理分類研究 **25**: 33-42.

Ishikawa, T. and Toyama, J. 1990. Two new species of *Poa* (Gramineae) from Japan. *J. Jpn. Bot.* **65**: 4-12.

富山次郎. 1991. 富山県産イネ科目録. イネ科研究レター (52): 8-9.

b 単行本の場合：著者名(aに同じ)、年号、表題、引用頁もしくは総頁数、発行所、発行地の順とする。なお発行地が複数の場合は一箇所のみとする。共同執筆や論文集、報告書等の場合、表題の後に共著者名もしくは編集者名、そして書籍表題を付け加えること。

福井三郎・新潟四郎. 1989. 日本海沿岸地域のエノコログサ属の生態. 日本海学会出版会(編). 日本海学会報告書, pp. 24-31. 日本海大学, 新潟.

石川太郎. 1981. イネ科の分類. 506 pp. 富山書房, 東京.

石川太郎. 1984. イネ科. 富山次郎(編). 日本植物誌 III, pp. 38-78. 石川出版, 金沢.

Ishikawa, T. 1985 a. Taxonomic study of Asiatic Gramineae. 1204 pp. Smith and Brown, New York.

Ishikawa, T. 1985 b. Morphology in Gramineae. Willson H.B., Clemens, A. C. and Backer, I.P. (eds.). *Gramineae in the world*, pp. 23-45. Academia, London.

富山次郎. 1984. ユリ科. 富山次郎(編). 日本植物誌 III, pp. 20-78. 石川出版, 金沢.

なお、引用文献を他言語表記にした場合、(in Japanese), (in Japanese with English summary), (in Russian), (in Chinese) 等を付記する。その他、原稿の体裁については最近号をよく参照のこと。

フロッピーディスクの送付

最終原稿は、MS-DOS 形式のフロッピーディスクにテキスト形式で保存して提出すること。ただし、手書きの原稿については、その限りではない。なお、ワープロ機や日本語ワープロソフトで英文原稿を作成する場合、単語の終わりのところで改行を手動で入れるようご協力下さい。

校正

原則として、初校を著者が行い、第 2 校以降は編集委員会の責任において行うものとする。活字は編集委員会が指定するが、特に希望する箇所があれば、鉛筆で記入すること。

校閲

英文論文については、外国人の校閲を受けることがあり、その場合の実費は著者負担とする。

別刷

投稿者は必要とする別刷部数を最終原稿に明記すること。総説、論文、短報、ノートは50部は無料、それ以上については実費を徴収する。

原稿送付先および編集に関する連絡先

送稿や編集に関係した通信は 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学科、植物地理・分類研究編集委員会宛。FAX (076-445-6549), E-mail (naruh@sci.toyama-u.ac.jp)。投稿の場合は封筒に「投稿原稿在中」と朱書すること。

植物地理・分類学会**The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy**

会 長 (President)	鳴橋 直弘 (N. Naruhashi)
庶務幹事 (Chief Secretary)	木下栄一郎 (E. Kinoshita)
会計幹事 (Treasurer)	岩坪 美兼 (Y. Iwatsubo)

幹 事 (Secretaries)

古池 博 (H. Furuike)	太田 道人 (M. Ohta)
西沢 徹 (T. Nishizawa)	植田 邦彦 (K. Ueda)
野上 達也 (T. Nogami)	山崎 貴博 (T. Yamazaki)

評議員 (Councilors)

石沢 進 (S. Ishizawa)	大塚 孝一 (K. Otsuka)
御影 雅幸 (M. Mikage)	高橋 弘 (H. Takahashi)
中田 政司 (M. Nakata)	

入会申し込み、バックナンバーほか当会発行書籍についての問い合わせなどは会計幹事までお願いいたします。

(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物学科 岩坪美兼 TEL 076-445-6628 FAX 076-445-6549)

その他のお問い合わせは庶務幹事へお願いします。(〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学自然計測応用研究センター附属植物園 木下栄一郎 TEL & FAX 076-264-5874)

投稿に関するお問い合わせなど編集業務については編集委員長までお願いいたします。(〒930-8555 富山市五福3190 富山大学理学部生物 鳴橋直弘 TEL 076-445-6625)

植物地理・分類学会「入会案内」

入会方法

- 1) 本学会に入会を希望される方は、切り取り線より下の部分（コピーでも可）に情報を記入のうえ、郵便で郵送先に送ってください。
- 2) 同時か又は短期間に、個人会員の場合は、年会費 4,000 円（学生会員 1,000 円）、団体会員は 6,000 円を、郵便振替口座 00760-0-904 番，植物地理・分類学会宛に振り込んでください。
- 3) 郵送先：
〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学理学部生物学科
植物地理・分類学会
TEL 076-445-6628
FAX 076-445-6549

..... 切り取り線

年 月 日

ふりがな 氏 名	英語表記： 生年月日 年 月 日
所 属： 同上住所：〒 電 話：	FAX： E-MAIL：
自宅住所：〒 電 話：	FAX： E-MAIL：
会誌送付先（どちらかに○）	勤務先 自宅
「現在取り組んでいる研究課題，興味のある分類群・地域」について： (キーワードで 5 語以内でお願いします)	

CONTENTS

Articles

- Mikio Kobayashi and Ryo Furumoto : A phylogeny of Japanese dwarf bamboos, the Sasa-group based on RAPD- and morphological data analyses1
- Irina V. Tatarenko and Katsuhiko Kondo : Population biology of *Habenaria radiata* (Orchidaceae) in Far East Russia and Japan25
- Naoko Ohno, Masayoshi Umebayashi and Eiichiro Kinoshita : Comparative study of the rhizome morphology in *Ophiopogon japonicus* (sensu lato)37
- Hiroki Nakanishi and Naomi Kawara-Kiyoura : Reproductive biology of *Hibiscus hamabo* Siebold et Zucc. (Malvaceae)47
- Ken-ichi Senuma : Species composition, distribution and habitat properties of *Alnus japonica* and *A. trabeculosa* forest in the Niigata Plain and its vicinities57

Short communications

- Yoshikane Iwatsubo, Yumiko Souma, Norihito Miura and Naohiro Naruhashi : Polyploidy of *Glechoma hederacea* subsp. *grandis* (Labiatae)67
- Yoshikane Iwatsubo, Yoo Sengi and Naohiro Naruhashi : Chromosome numbers of 36 cultivated taxa of *Prunus* subg. *Cerasus* in Japan73
- Hiroki Nakanishi : A new locality of *Serissa japonica* (Thunb.) Thunb. (Rubiaceae) in Japan and its ecology77

Miscellaneous notes

- Atsushi Tamura, Masanobu Yamane and Hiroko Nakayama : Newly distributed *Athyrium pinetorum* Tagawa in Kanagawa Prefecture83
- Koichi Otsuka : A new variegated form of *Symplocarpus foetidus* var. *latissimus*85
- Kenju Imai and Tatemi Shimizu : A new form of *Rhododendron* from Yatsugatake, Japan87
- Kunio Kayama : A new form of *Bidens pilosa* var. *radiata* (Compositae)88
- Takuo Takara : A new form of *Ranunculus extorris* Hance var. *lutchuensis* (Nakai) Tamura89

Book reviews

- A list of the Red Data Book (Plants), addenda (2)93

Titles of articles in other botanical journals

Announcements

編集委員会 (Editorial Board)

編集委員長 (Editor-in-Chief)	鳴橋 直弘 (Naohiro Naruhashi, Toyama)
主任編集委員 (Managing Editor)	岩坪 美兼 (Yoshikane Iwatsubo, Toyama)
古池 博 (Hiroshi Furuike, Kanazawa)	中田 政司 (Masashi Nakata, Toyama)
福嶋 司 (Tukasa Hukusima, Tokyo)	清水 建美 (Tatemi Shimizu, Matsumoto)
河野 昭一 (Shoichi Kawano, Kyoto)	鈴木 三男 (Mitsuo Suzuki, Sendai)
菊池多賀夫 (Takao Kikuchi, Yokohama)	和田 直也 (Naoya Wada, Toyama)
木下栄一郎 (Eiichiro Kinoshita, Kanazawa)	綿野 泰行 (Yasuyuki Watano, Chiba)
北川 尚史 (Naofumi Kitagawa, Nara)	Madjit I. Hakki (Berlin, Germany)
小島 覚 (Satoru Kojima, Tokyo)	Frederick H. Utech (Pittsburgh, U.S.A.)

2004年7月25日発行
編集発行人 〒930-8555 富山市五福 富山大学理学部 鳴橋 直弘
発行所 〒930-8555 富山市五福 富山大学理学部 生物学科内
印刷所 〒920-0855 金沢市武蔵町7番10号 植物地理・分類学会
能登印刷株式会社